

報道ご関係者各位  
2011年4月15日

## マニユライフ生命、新契約1件につき200円を東日本大震災の被災地に義援金として寄付

マニユライフ生命保険株式会社(社長兼 CEO:クレイグ・ブロムリー、本社:東京都調布市)は、4月1日~6月27日までの間にご契約頂いた新契約<sup>\*1</sup>1件につき200円を、東日本大震災の被災地に義援金として寄付する活動を実施しています。この義援金は、社会福祉法人中央共同募金会を通じて、被災地の支援のために活用される予定です。

マニユライフ生命の親会社であるマニユライフ・ファイナンシャルは、グループ全体で少なくとも100万カナダドル(約8700万円程度)を東日本大震災への義援金として拠出することを既に決定しておりますが、東日本大震災の甚大な被害に鑑み、営業活動を通じて被災地域を支援したい、との思いからマニユライフ生命が今般の義援金拠出を追加決定いたしました。

マニユライフ生命 社長兼 CEO クレイグ・ブロムリーは次のように述べています。

「被災され困難な状況にある皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被災地のお客さまに引き続きより良いサービスをご提供させていただくと共に、復興に向け歩みつつある中、今回の義援金が皆さまのお役に立つことを願っております。マニユライフ生命は、被災地の一日も早い復興を応援してまいります。」

\*1・・・銀行、代理店等を通じてお取扱している契約についても対象となります。

### マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年12月31日現在4,750億カナダドル(4,780億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャル社—は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)